



団体交渉
ポイント①

多くの項目で要求を実現！

申7号「システムチェンジ・コストダウン計画(ダイヤ改正)」に対する申し入れ

新潟地本は2月19日、申7号・「システムチェンジ・コストダウン計画(ダイヤ改正)」に対する申し入れの団体交渉を行いました。

社員の労働環境を改善することを通じて安全安定輸送や質の高いサービスの提供ができるダイヤ改正を実現するため交渉を行い、多くの項目において要求が前進しました。

石打駅の浴室、新潟駅電留線休憩室のTV設置など実現へ

- 石打駅の男性用浴室を2階に設置するように求め、支社側から時期はまだ確定しないが、次年度以降に施工するとの回答を受けました。
- 新潟駅電留線の乗務員休憩室へのテレビ設置を求め、支社側は、備品購入のため時間がかかるかも知れないとしながらも、3月中にアンテナ工事を行いたいと回答しました。
- 新潟新幹線運輸区の社員用駐車場確保について、申し入れ提出後に新幹線運輸区で解決が図られたことを確認しました。
- 新潟運輸区の女性用浴室設備の増設要求に対して支社側は、組合側と同様な問題意識は持っていると明らかにしました。地本交渉団は女性社員の意見を基に、ユニットバスではなくてシャワーを2つ増やして欲しいと訴えました。
 - <組合> 今の浴室だと足りずに風呂待ちが発生し10分、20分と待つことになる。諦めて翌朝に入る人もいる。ぜひ優先順位を上を持ってきてほしい。
 - <支社> できる、できないを含めて明言できないが、会社としても問題意識はもっている

E129系車両改良、ワンマン放送改善など実現

- E129系のワンマン運転放送時に、現行の「次は〇〇、〇〇です」に続き、運転士後ろの一番前のドアから降りるように案内の放送が流れるように放送ロムを改修する。
- E129系の勾配起動ブレーキの押しボタンが押されたまま戻らなくなる対策として、ボタンのテコ棒が取り付け台にすらないように穴を大きくしたり、材質を変更したりして改修を行った

このほかにも、停止目標の統一など多くの項目について、今回の交渉では解決には至らなかったものの労使で問題に対する認識の一致を図り、今後検討をしていくとの回答を受けました。

